

国際日本研究専攻後期(2015年度以降入学者)

専攻共通科目(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMA01	プロジェクト演習3	2	1.0	1	通年	応談		国際日本研究専攻 全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	
02DMA02	プロジェクト演習4	2	1.0	2	通年	応談		国際日本研究専攻 全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	
02DMA03	リサーチ・プログラム開発入門(RPDC) 1	2	2.0	1	春AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。本講義・演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMA04	大学院博士入門演習	2	1.0	1	秋AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	受講者は論文の執筆方法、文献の引用の仕方、研究者としての倫理・モラル(絶対に無断引用しないなど)等について基本的な事項を学んだ上で、自らの研究テーマをどのように選び、深めていけばよいか、そのことで学会や実社会にどのように貢献するか、講義、発表等を通じて学習していく。	

専門科目(ディシプリン共通科目)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC01	リサーチ・プログラム開発9	2	2.0	1	春AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が見望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が見望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものでなくてはならない。	
02DMC02	リサーチ・プログラム開発10	2	2.0	1	秋AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が見望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が見望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものでなくてはならない。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC03	リサーチ・プログラム開発11	2	2.0	2	春AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	<p>自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。</p> <p>本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものでなくてはならない。</p>	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC04	リサーチ・プログラム開発12		2	2.0	2	秋AB	応談	国際日本研究専攻 全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義 および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものでなくてはならない。	

専門科目(リサーチ・プログラム開発)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMD01	リサーチ・プログラム開発複合3		2	2.0	1	春AB	応談		複合学位プログラムに関する研究テーマを選んだ学生のみが履修できる。指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。	事前に申請・許可が必要(複合科目に関する特別演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMD02	リサーチ・プログラム開発複合4	2	2.0	2	秋AB	応談			複合学位プログラムに関する研究テーマを選んだ学生のみが履修できる。指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。	事前に申請・許可が必要(複合科目に関する特別演習)

専門科目(国際日本社会科学学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME04	グローバル日本政治(対外関係)3A	2	1.0	1-3	秋AB	火3	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。02DJ370, 02DMK12, 02DMP07, 02DMQ31と同一。
02DME05	グローバル日本政治(対外関係)3B	2	1.0	1-3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DMK13, 02DMP08, 02DMP17, 02DMQ32と同一。英語で授業。
02DME06	グローバルガバナンス(国際関係論)3A	2	1.0	1	春AB	火4	人社A206	大友 貴史	The aim of this course is to study the main theories of international relations.	西暦奇数年度開講。02DMQ33と同一。
02DME07	グローバルガバナンス(国際関係論)3B	2	1.0	1					The aim of this course is to study the main theories of international relations.	西暦偶数年度開講。02DMQ34と同一。英語で授業。
02DME10	グローバル社会と日本(国際情報社会論)1A	2	1.0	1	春AB	金3	8A107	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。02DMQ27と同一。英語で授業。
02DME11	グローバル社会と日本(国際情報社会論)1B	2	1.0	1	春AB	金4	8A107	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。02DMQ28と同一。英語で授業。
02DME12	グローバル社会と日本(国際情報社会論)2A	1	1.0	1	春AB	水2	共同A604	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	西暦奇数年度開講。02DMP15と同一。英語で授業。
02DME13	グローバル社会と日本(国際情報社会論)2B	1	1.0	1	秋AB	水2		川崎 レスリー タック	This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (02DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	西暦奇数年度開講。02DMP16と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME14	日本社会と計量分析2A	1	1.0	1	春AB	月5	8B201	崔 宰栄	計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、分析データの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計と使い方について講義する。計量分析の概要、基礎集計(度数分布)、記述統計(代表値、散布度)など統計の基本を理解し、日本社会と計量分析2Bを勉強するための土台作りを行う。	
02DME15	日本社会と計量分析2B	1	1.0	1	春AB	木5	8B201	崔 宰栄	計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、分析データの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計や使い方について講義する。そのため、日本社会と計量分析2Aで学んだ知識(基礎集計、記述統計)を土台とし、関連分析(相関分析、回帰分析)を中心とした、計量分析の入門的な概念を理解し、発展させる。	
02DME16	日本社会と計量分析演習2A	2	1.0	1	春AB	月6	8B201	崔 宰栄	統計分析用ソフトSPSSを使用して、計量分析に要する一連の分析プロセスを学ぶ。本授業では、SPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を学び、日本社会と計量分析演習2Bでの高度な分析を行うための土台作りを行う。	
02DME17	日本社会と計量分析演習2B	2	1.0	1	春AB	木6	8B201	崔 宰栄	統計分析用ソフトを使用して、計量分析に要する一連の分析プロセスを学ぶ。本授業では、日本社会と計量分析演習2Aで学んだSPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を土台とし、高度な分析を行う。	
02DME18	グローバル経済論(世界経済史)3A	2	1.0	1					参加者の具体的な論文指導を通じて、工業化・経済発展過程と、それを支える社会経済システムの関係について、日本と諸外国との国際比較を通じて考察する。	02DM191, 02DMQ19と同一。 2019年度開講せず。
02DME19	グローバル経済論(世界経済史)3B	2	1.0	1	春AB	応談		田中 洋子	各国の経済発展とそれを支える社会経済的基盤の形成と変容について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	西暦奇数年度開講。 02DM162, 02DMQ20と同一。
02DME20	グローバル経済と日本(金融と日本社会)5A	2	1.0	1	春AB	金2	人社 A315	高橋 秀直	金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	西暦奇数年度開講。
02DME21	グローバル経済と日本(金融と日本社会)5B	2	1.0	1	秋AB	金2	人社 A315	高橋 秀直	金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	西暦奇数年度開講。
02DME22	グローバル経済と日本(金融と日本社会)6A	2	1.0	1					金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	西暦偶数年度開講。
02DME23	グローバル経済と日本(金融と日本社会)6B	2	1.0	1					金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	西暦偶数年度開講。
02DME24	日本社会と公共経済5A	2	1.0	1	春AB	木2	人社 A315	仲 重人	日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦奇数年度開講。
02DME25	日本社会と公共経済5B	2	1.0	1	秋AB	木2	人社 A315	仲 重人	日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦奇数年度開講。
02DME26	日本社会と公共経済6A	2	1.0	1					日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦偶数年度開講。
02DME27	日本社会と公共経済6B	2	1.0	1					日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦偶数年度開講。
02DME28	グローバル経済と日本(現代日本経済史)1A	2	1.0	1	春AB	木2	共同 A601-1	平沢 照雄	1930年代以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	西暦奇数年度開講。
02DME29	グローバル経済と日本(現代日本経済史)1B	2	1.0	1	秋AB	木1	人社 A207	平沢 照雄	第2次世界大戦以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME30	グローバル経済と日本(現代日本経済史)2A	2	1.0	1					1930年代以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	西暦偶数年度開講。
02DME31	グローバル経済と日本(現代日本経済史)2B	2	1.0	1					第2次世界大戦以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	西暦偶数年度開講。
02DME32	グローバル教育論(比較歴史教育)3A	2	1.0	1	春AB	火2	人社A205	柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。	西暦奇数年度開講。02DM108, 02DMQ41と同一。
02DME33	グローバル教育論(比較歴史教育)3B	2	1.0	1					第二次世界大戦以降の歴史教育に関し、特に大戦に深く関わった国々について、政治的・社会的文脈の変化とともに考察する。	西暦偶数年度開講。02DMQ42と同一。
02DME34	グローバル政治と日本社会(国際人口移動論)3A	2	1.0	1-3	秋AB	木3	人社A207	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。02DM272, 02DMQ03と同一。
02DME35	グローバル政治と日本社会(国際人口移動論)3B	2	1.0	1-3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DMQ04と同一。
02DME40	グローバル社会と日本(法と市民社会)5A	2	1.0	1	春C	応談		根本 信義	社会科学の研究者に必要とされる知識を横断的に再整理し、具体的な紛争解決に向けた総合的な法的思考能力の修得を目的として、社会的に問題となった事例や具体的な判例の事案を素材に作成した問題について、受講者全員が事前に解答を用意し、全員で検討しながら授業を進めていく。	西暦奇数年度開講。
02DME41	グローバル社会と日本(法と市民社会)5B	2	1.0	1	秋C	応談		根本 信義	社会科学の研究者に必要とされる知識を横断的に再整理し、具体的な紛争解決に向けた総合的な法的思考能力の修得を目的として、社会的に問題となった事例や具体的な判例の事案を素材に作成した問題について、受講者全員が事前に解答を用意し、全員で検討しながら授業を進めていく。	西暦奇数年度開講。
02DME42	グローバル社会と日本(法と市民社会)6A	2	1.0	1					社会科学の研究者に必要とされる知識を横断的に再整理し、具体的な紛争解決に向けた総合的な法的思考能力の修得を目的として、社会的に問題となった事例や具体的な判例の事案を素材に作成した問題について、受講者全員が事前に解答を用意し、全員で検討しながら授業を進めていく。	西暦偶数年度開講。
02DME43	グローバル社会と日本(法と市民社会)6B	2	1.0	1					社会科学の研究者に必要とされる知識を横断的に再整理し、具体的な紛争解決に向けた総合的な法的思考能力の修得を目的として、社会的に問題となった事例や具体的な判例の事案を素材に作成した問題について、受講者全員が事前に解答を用意し、全員で検討しながら授業を進めていく。	西暦偶数年度開講。
02DME44	グローバル社会と日本(法と現代社会)5A	2	1.0	1	春C	応談		宮坂 渉	日本の法と社会の基礎となっている古代ローマ法について研究する。	西暦奇数年度開講。
02DME45	グローバル社会と日本(法と現代社会)5B	2	1.0	1	秋C	応談		宮坂 渉	国際的な民事事件の法的処理に関する手続的諸問題を判例を通して考察する。	西暦奇数年度開講。
02DME46	グローバル社会と日本(法と現代社会)6A	2	1.0	1					国際的な民事事件の法的処理に関する手続的諸問題を判例を通して考察する。	西暦偶数年度開講。
02DME47	グローバル社会と日本(法と現代社会)6B	2	1.0	1					グローバル社会における日本が抱える現代的な法的問題について発展的に考察する。	西暦偶数年度開講。
02DME53	ユーラシア交流A	1	1.0	1-3	秋AB	応談	8A405	ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of two Japanese foreign policy initiatives – Silk Road Diplomacy and Central Asia plus Japan – and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「シルクロード外交」や「中央アジアブラス日本」のイニシアティブに主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM217, 02DMQ15と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME54	ユーラシア交流B	1	1.0	1 - 3	秋AB	応談	8A405	ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM218, 02DMQ16と同一。 英語で授業。
02DME55	ユーラシア交流演習A	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DMQ07と同一。
02DME56	ユーラシア交流演習B	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DMQ08と同一。
02DME57	ユーラシア世界史A	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	西暦偶数年度開講。02DMQ23と同一。
02DME58	ユーラシア世界史B	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	西暦偶数年度開講。02DMQ24と同一。
02DME59	ユーラシア世界史演習A	2	1.0	1 - 3	春AB	応談		塩谷 哲史	中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM281, 02DMQ09と同一。
02DME60	ユーラシア世界史演習B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		塩谷 哲史	中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM282, 02DMQ10と同一。
02DME61	グローバル政治と日本社会(ゲーム理論と日本社会)5A	2	1.0	1 - 3	春AB	応談		福住 多一		
02DME62	グローバル政治と日本社会(ゲーム理論と日本社会)5B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		福住 多一		
02DME63	グローバル環境と日本経済5A	1	1.0	1・2	春AB	火5	人社 A313	生藤 昌子	環境問題・資源問題を分析するための環境経済学の基礎理論について解説し、環境税など現実の環境政策への応用・問題点などについて議論する。ミクロ経済学の基礎について修得済みであることが望ましい。	西暦奇数年度開講。
02DME64	グローバル環境と日本経済5B	1	1.0	1・2	秋AB	火5	人社 A313	生藤 昌子	環境問題・資源問題を分析するための環境経済学の基礎理論について解説し、環境税など現実の環境政策への応用・問題点などについて議論する。ミクロ経済学の基礎について修得済みであることが望ましい。	西暦奇数年度開講。
02DME65	グローバル環境と日本経済6A	2	1.0	1 - 3					環境問題・資源問題について、内外の研究論文を講読・討論する。	西暦偶数年度開講。
02DME66	グローバル環境と日本経済6B	2	1.0	1 - 3					環境問題・資源問題について、内外の研究論文を講読・討論する。	西暦偶数年度開講。
02DME67	グローバル社会の比較政治5A	2	1.0	1・2					日本を含む世界各国の政治現象や政治的諸課題を題材として取り上げつつ、博士研究に有用な比較政治学における量的・質的研究の方法論について幅広く議論する。あらかじめ政治学の基礎的素養を持つことが望ましい。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME68	グローバル社会の比較政治5B	2	1.0	1・2					日本を含む世界各国の政治現象や政治的諸課題を題材として取り上げつつ、博士研究に有用な比較政治学における量的・質的研究の方法論について幅広く議論する。あらかじめ政治学の基礎的素養を持つことが望ましい。	2019年度開講せず。
02DME69	グローバル社会の比較政治6A	1	1.0	1・2	春AB	木5	共同A604	関 能徳	日本を含む世界各国の政治現象や政治的諸課題を題材として取り上げつつ、博士研究に有用な比較政治学における量的・質的研究の方法論について幅広く議論する。あらかじめ政治学の基礎的素養を持つことが望ましい。	西暦奇数年度開講。要望があれば英語で授業
02DME70	グローバル社会の比較政治6B	2	1.0	1・2	秋AB	木5		関 能徳	日本を含む世界各国の政治現象や政治的諸課題を題材として取り上げつつ、博士研究に有用な比較政治学における量的・質的研究の方法論について幅広く議論する。あらかじめ政治学の基礎的素養を持つことが望ましい。	西暦奇数年度開講。要望があれば英語で授業
02DME71	日本政治と市民社会3A	2	1.0	1・2					受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	02DMP18と同一。2019年度開講せず。
02DME72	日本政治と市民社会3B	2	1.0	1・2					受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	02DMP19と同一。2019年度開講せず。
02DME73	日本政治と市民社会4A	2	1.0	1・2	春AB	金3	共同A604	山本 英弘	受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	西暦奇数年度開講。02DMP20と同一。
02DME74	日本政治と市民社会4B	2	1.0	1・2	秋AB	応談		山本 英弘	受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	西暦奇数年度開講。02DMP21と同一。

専門科目 (国際日本複合研究領域学位プログラム) (平成27年度以降入学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMK01	東アジアの家と社会問題特別授業2	2	1.0	1 - 3					日本を含む東アジアには、儒教精神に基づく家制度、農耕文化に由来する家制度、職業の世襲による家制度、その特殊なものとして家元制度などがある。西洋化、近代化、グローバル化により、それらは変容してきた。この変容と、それらを貫いて持続する家の理念の対比を、それぞれの専門家を招へいして議論する。	西暦奇数年度開講。2019年度開講せず。
02DMK02	現代アジアの家と家庭教育2	2	1.0	1 - 3					日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DM141, 02DMR02と同一。2019年度開講せず。
02DMK03	日本社会と家2A	2	1.0	1 - 3	春AB	月5	共同A601-1	平山 朝治	日本のイエ社会の形成・変容・構造について、他社会と比較しつつ考察する。	西暦奇数年度開講。
02DMK04	日本社会と家2B	2	1.0	1 - 3					組織原理としての「家」を巡る歴史観や理論を再検討し、一休の思想をみる。	西暦偶数年度開講。02DMR08と同一。
02DMK05	韓国の家2	2	1.0	1 - 3	秋AB	火2		嚴 錫仁	韓国社会における家族関係の性質について他文化圏との比較考察を交えつつ学ぶ。	西暦奇数年度開講。
02DMK09	日本と東アジアの比較歴史教育3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	火2	人社A205	柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。	西暦奇数年度開講。02DM157, 02DMP09と同一。
02DMK10	日本と東アジアの比較歴史教育3B	2	1.0	1 - 3					近代国家形成や社会変動と教育の関係について、受講者の研究領域等具体的題材を通じて議論し比較考察する。	西暦偶数年度開講。02DMP10と同一。
02DMK12	日本社会と外交3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	火3	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。02DJ370, 02DME04, 02DMP07, 02DMQ31と同一。
02DMK13	日本社会と外交3B	2	1.0	1 - 3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMP08, 02DMP17, 02DMQ32と同一。英語で授業。
02DMK14	アジア移民社会論3A	2	1.0	1 - 3	春AB	木3	人社A207	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。02DM271, 02DMP11と同一。
02DMK15	アジア移民社会論3B	2	1.0	1 - 3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DMP12と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DML01	日本とアジアの心身教育特別授業2	2	1.0	1-3					日本とアジアの心身教育の科目群について、授業の目的と展望などを概説する。	西暦奇数年度開講。2019年度開講せず。
02DML02	アジアと日本における心身論2	2	1.0	1-3	秋AB	木4	人社A207	佐藤 貢悦	湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM124, 02DMR01と同一。
02DML07	身体と文化2	2	1.0	1					学校、都市、スタジアム、祝祭空間における身体の近代とその変容について、身体とその文化に関する理論書を読み、議論する。	01EH158と同一。2019年度開講せず。
02DML08	日本古典文化と身体2	2	1.0	1-3					日本人が伝統的に受け継いできた身体的所作についてその文化的意義を学ぶ。	西暦偶数年度開講。
02DMM02	日本のエンターテインメントと社会経済2	2	1.0	1-3					日本の貨幣経済と、冤罪で殺された貴人の怨霊・御霊を祭って災異を避け、加護を得るといふ信仰は、7世紀後半に東南アジアから伝わった東方キリスト教に由来する(『平山朝治著作集第3巻 貨幣と市民社会の起源』中央経済社、2009年)。尾池和夫らによれば祇園祭は869=貞観11年(2011年の1周期前)の東日本大震災後に行われた神泉苑御霊会にはじまり(https://blog.goo.ne.jp/kotodama2009/e/b034458fc6acb707cfff0150b5411ee24 、「京都の地球科学(二五五)」『水室』2015年7月号)、多くの人が説くように蘇民将来伝説は過越と似ており、祇園守紋は×十字であるように、東方キリスト教起源の怨霊・御霊信仰が日本の伝統的な祭礼や芸能を生み出した。このような日本の伝統的エンターテインメントと社会経済の関係について、上記拙著を予め読んで、DVD視聴や実地体験をふまえて議論し、知見を深めることを目的とする。祇園祭DVD、能楽DVD(道成寺 梅若六郎)、歌舞伎DVD(京鹿子娘道成寺 坂東玉三郎)などを取り上げ、祇園祭の宵山、山鉾巡行、神輿渡御などの見学(7月16~17日、京都)を行う。	西暦偶数年度開講。
02DMM03	ソフト・パワーのメディア文化政策2	2	1.0	1-3	秋AB	木5		白戸 健一郎	国家のブランド力たる真のソフト・パワーとは? 本講義では昨今のクールジャパン論をはじめとする文化発信政策について検証します。	西暦奇数年度開講。02DMT11と同一。
02DMM04	比較広告・宣伝論2	2	1.0	1-3					複数の事例から、広告の効果と一般的宣伝論について学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DMT12と同一。
02DMM07	情報社会・メディア・図書館	1	2.0	1-3	春AB	木3,4	研究室	後藤 嘉宏	メディア論におけるメディア史の時代区分に焦点を当てて論じる。講義担当者は中井正一のメディア論を研究している。したがってまず授業の前半部分は中井正一のメディア論におけるメディア史の時代区分について、中井の他の側面と照らし合わせながら、講義する。そのあと、アレント、マクルーハン、オング、ベンヤミン、フーコーなどの広い意味でのメディア論・言語論・芸術論におけるメディア史の時代区分との対比のなかで、中井の独自性あるいは限界を浮き彫りにする。授業は主に講義形式で行うが、講義形式での説明の前に、毎回上記論者の邦語邦訳書物を受講者の誰かが一冊読んで報告する。さらに上記論者に関する最新の英語文献、あるいは存命のメディア論者の英語文献をこちらで選び、報告して貰う機会も設ける。それらの部分は演習形式となる。	図書館情報メディア専攻英語プログラム学生からの要望があれば英語で授業 02MA109と同一。
02DMM08	アジアのCMC 2	1	1.0	1-3	春AB	火6	共同A604	海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会学および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM211, 02DMT09と同一。
02DMM10	インターネットと市民社会2	1	1.0	1-3	秋AB	火6		海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM212, 02DMT10と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMM13	日・アジア・北米インターネット政治論2	2	1.0	1-3					The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年度開講。2019年度開講せず。
02DMM14	日本とアジアの技術・社会イノベーション	1	1.0	1-3	秋AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	技術的イノベーションがもたらす社会の変容。日本とアジアにおける事例研究である。	
02DMN02	翻訳からみた日本と東アジアの文化2	2	1.0	1-3	春AB	応談		佐藤 貢悦	訳書の文献講読によって見えてくるアジアの文化的差異についての分析を試みる。	西暦奇数年度開講。
02DMN03	日本の精神文化と翻訳2	2	1.0	1-3					日本は漢字を輸入し、それを変形した仮名を創造し、また近代にはヨーロッパ諸語を輸入し、それをおもに漢語で翻訳してきた。二重三重の翻訳により、日本人の精神文化は複雑な言語環境にあり、混乱を内蔵している。そのような事態を再考し、翻訳文化のあり方を、創造的に検討したい。	西暦偶数年度開講。
02DMN04	日本とアジアの相互理解のための翻訳2	2	1.0	1-3	秋C	応談		佐藤 貢悦	日英中の対訳資料を用いて、日本語の特色ならびに相互理解のための翻訳について理解を深める。	西暦奇数年度開講。
02DMN05	異文化理解のための日本語翻訳2	1	1.0	1-2	秋AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	よりよい翻訳に求められる異文化への眼差しについての講義である。	
02DMN07	日本文学翻訳論	2	1.0	1-3	春AB	火4	共同 A601-1	平石 典子	日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM177, 02DMS01と同一。
02DMN09	異文化相互理解のための通訳2	2	1.0	1-3					(Not Offered in the 2015-16 academic year; offered in the 2016-17 academic year.) 異なる国の言葉を短期間に正確にとらえ、伝える通訳という観点から、異なる文化を如何に理解すべきについて講義、実践する。	西暦偶数年度開講。英語で授業。
02DMN10	異文化対話のための翻訳2	2	1.0	1-3	秋C	水1,2		川崎 レスリー タック	異なる国の言葉で書かれた文章を理解するには、語学力のほか、その文化も知らなければならない。文章という対話の形から、異なる文化を如何に理解すべきについて講義、実践する。During this course, students will be introduced to the theoretical and practical study of translation. First, we will look at theories about translation (mainly developed with regards to European languages) as well as methods; then we will focus on practical exercises in translation. We will be translating mainly from Japanese into English, however, we may also do English-to-Japanese translation, depending on the linguistic background of the students.	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DMP03	比較労働・社会政策3A	2	1.0	1	春AB	水1	人社 A201	田中 洋子	工業化・資本主義化・経済発展の歴史的プロセスと、それを支える労働をはじめとする社会経済システムの関係のあり方について、日本と諸外国との国際比較を通じて検討する。	西暦奇数年度開講。02DM111と同一。
02DMP04	比較労働・社会政策3B	2	1.0	1					各国の労働システムをはじめとする社会経済体制について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	西暦奇数年度開講。02DM112と同一。2019年度開講せず。
02DMP05	国際政治と共生3A	2	1.0	1-3	秋AB	木3		大友 貴史	This course explores conflict and cooperation among Asian countries involving various issue areas.	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DMP06	国際政治と共生3B	2	1.0	1-3					This course explores conflict and cooperation among Asian countries involving various issue areas.	西暦偶数年度開講。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMP07	日本の対外関係とグローバル共生3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	火3	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。02DJ370, 02DME04, 02DMK12, 02DMQ31と同一。
02DMP08	日本の対外関係とグローバル共生3B	2	1.0	1 - 3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP17, 02DMQ32と同一。英語で授業。
02DMP09	教育とグローバル共生社会3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	火2	人社A205	柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。	西暦奇数年度開講。02DM157, 02DMK09と同一。
02DMP10	教育とグローバル共生社会3B	2	1.0	1 - 3					近代国家形成や社会変動と教育の関係について、受講者の研究領域等具体的題材を通じて議論し比較考察する。	西暦偶数年度開講。02DMK10と同一。
02DMP11	多文化共生論3A	2	1.0	1 - 3	春AB	木3	人社A207	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。02DM271, 02DMK14と同一。
02DMP12	多文化共生論3B	2	1.0	1 - 3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DMK15と同一。
02DMP15	政治とインターネット3A	1	1.0	1 - 3	春AB	水2	共同A604	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	西暦奇数年度開講。02DME12と同一。英語で授業。
02DMP16	政治とインターネット3B	1	1.0	1 - 3	秋AB	水2		川崎 レスリー タック	This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (02DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	西暦奇数年度開講。02DME13と同一。英語で授業。
02DMP17	グローバル共生社会特別授業2	2	1.0	1 - 3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP08, 02DMQ32と同一。英語で授業。
02DMP18	グローバル共生の政治と市民社会3A	2	1.0	1・2					受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	02DME71と同一。2019年度開講せず。
02DMP19	グローバル共生の政治と市民社会3B	2	1.0	1・2					受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	02DME72と同一。2019年度開講せず。
02DMP20	グローバル共生の政治と市民社会4A	2	1.0	1・2	春AB	金3	共同A604	山本 英弘	受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	西暦奇数年度開講。02DME73と同一。
02DMP21	グローバル共生の政治と市民社会4B	2	1.0	1・2	秋AB	応談		山本 英弘	受講者の関心を踏まえながら、日本の市民社会の政治に関する複数の文献の輪読を通じて、受講者各自の研究の進展を支援するための演習とする。	西暦奇数年度開講。02DME74と同一。
02DMQ03	日本研究演習2A	2	1.0	1 - 3	秋AB	木3	人社A207	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。02DM272, 02DME34と同一。
02DMQ04	日本研究演習2B	2	1.0	1 - 3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DME35と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ07	ユーラシア地域研究演習1A	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DME55と同一。
02DMQ08	ユーラシア地域研究演習1B	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DME56と同一。
02DMQ09	ユーラシア地域研究演習2A	2	1.0	1 - 3	春AB	応談		塩谷 哲史	中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM281, 02DME59と同一。
02DMQ10	ユーラシア地域研究演習2B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		塩谷 哲史	中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM282, 02DME60と同一。
02DMQ11	ユーラシア地域研究演習3A	2	1.0	1 - 3					The State, Political Institutions and Society in post-Soviet Eurasia. The course focuses on the emergence and development of political institutions of post-Soviet countries within the context of state-building and social transformation. The course traces the creation and unmaking of major political institutions in the newly established states by examining the impact of Soviet legacy, the role of domestic political elites, social actors as well as foreign political dynamics.	西暦偶数年度開講。英語で授業。
02DMQ12	ユーラシア地域研究演習3B	2	1.0	1 - 3					The State, Political Institutions and Society in post-Soviet Eurasia. The course focuses on the emergence and development of political institutions of post-Soviet countries within the context of state-building and social transformation. The course traces the creation and unmaking of major political institutions in the newly established states by examining the impact of Soviet legacy, the role of domestic political elites, social actors as well as foreign political dynamics.	西暦偶数年度開講。英語で授業。
02DMQ13	ユーラシア地域研究演習4A	2	1.0	1 - 3	秋BC	応談		ダダバエフ ティムール, 塩谷 哲史	ユーラシア地域の協定校教員による集中講義である。	
02DMQ14	ユーラシア地域研究演習4B	2	1.0	1 - 3	秋BC	応談		塩谷 哲史, ダダバエフ ティムール	ユーラシア地域の協定校教員による集中講義である。	
02DMQ15	ユーラシアの国際関係A	1	1.0	1 - 3	秋AB	応談	8A405	ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of two Japanese foreign policy initiatives - Silk Road Diplomacy and Central Asia plus Japan - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「シルクロード外交」や「中央アジアプラス日本」のイニシアティブに重点を置いて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM217, 02DME53と同一。英語で授業。
02DMQ16	ユーラシアの国際関係B	1	1.0	1 - 3	秋AB	応談	8A405	ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に重点を置いて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM218, 02DME54と同一。英語で授業。
02DMQ19	ユーラシアの経済A	2	1.0	1					参加者の具体的な論文指導を通じて、工業化・経済発展過程と、それを支える社会経済システムの関係について、日本と諸外国との国際比較を通じて考察する。	02DM191, 02DME18と同一。2019年度開講せず。
02DMQ20	ユーラシアの経済B	2	1.0	1	春AB	応談		田中 洋子	各国の経済発展とそれを支える社会経済的基盤の形成と変容について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	西暦奇数年度開講。02DM162, 02DME19と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ23	ユーラシア世界史A	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	西暦偶数年度開講。02DME57と同一。
02DMQ24	ユーラシア世界史B	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	西暦偶数年度開講。02DME58と同一。
02DMQ27	国際政治学1A	2	1.0	1	春AB	金3	8A107	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。02DME10と同一。英語で授業。
02DMQ28	国際政治学1B	2	1.0	1	春AB	金4	8A107	川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。02DME11と同一。英語で授業。
02DMQ31	日本対外関係論A	2	1.0	1 - 3	秋AB	火3	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。02DJ370, 02DME04, 02DMK12, 02DMP07と同一。
02DMQ32	日本対外関係論B	2	1.0	1 - 3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP08, 02DMP17と同一。英語で授業。
02DMQ33	国際関係論A	2	1.0	1	春AB	火4	人社A206	大友 貴史	The aim of this course is to study the main theories of international relations.	西暦奇数年度開講。02DME06と同一。英語で授業。
02DMQ34	国際関係論B	2	1.0	1					The aim of this course is to study the main theories of international relations.	西暦偶数年度開講。02DME07と同一。英語で授業。
02DMQ41	教育政策論A	2	1.0	1	春AB	火2	人社A205	柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。	西暦奇数年度開講。02DM108, 02DME32と同一。
02DMQ42	教育政策論B	2	1.0	1					第二次世界大戦以降の歴史教育に関し、特に大戦に深く関わった国々について、政治的・社会的文脈の変化とともに考察する。	西暦偶数年度開講。02DME33と同一。

専門科目(国際日本文科学学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMR01	比較東洋思想3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	木4	人社A207	佐藤 貢悦	湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM124, 02DML02と同一。
02DMR02	比較東洋思想3B	2	1.0	1 - 3					日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DM141, 02DMK02と同一。2019年度開講せず。
02DMR03	日本社会と宗教3A	2	1.0	1 - 3	春AB	火6	共同A601-2	津城 寛文	奇数年度(A)は、「宗教と他界」の領域、偶数年度(B)は、「宗教と社会」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を軸に、随時、学生に発表を求める。	西暦奇数年度開講。
02DMR04	日本社会と宗教3B	2	1.0	1 - 3					奇数年度(A)は、「宗教と他界」の領域、偶数年度(B)は、「宗教と社会」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を軸に、随時、学生に発表を求める。	西暦偶数年度開講。
02DMR05	朝鮮半島と日中の思想文化2A	2	1.0	1 - 3	春AB	火2	共同A601-1	巖 錫仁	朝鮮半島についての研究文献を講読し、その思想と文化について議論する。	西暦奇数年度開講。
02DMR06	朝鮮半島と日中の思想文化2B	2	1.0	1 - 3					朝鮮半島についての研究文献を講読し、その思想と文化について議論する。	西暦偶数年度開講。
02DMR07	日本文化と経済思想3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	月5		平山 朝治	日本神話や天皇制のなかに分権的社会経済を支える自由主義の伝統をさぐる。	西暦奇数年度開講。
02DMR08	日本文化と経済思想3B	2	1.0	1 - 3					組織原理としての「家」を巡る歴史観や理論を再検討し、一休の思想をみる。	西暦偶数年度開講。02DMK04と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMR10	日本文化と世界2B	1	1.0	1・2	春AB	火4		渡部 宏樹	東アジア、ヨーロッパ、米国の日本を描いた映画を批判的に鑑賞することによって、これらの国・地域にとって日本がどのような意味を持つのかを考える。	西暦奇数年度開講。
02DMS01	比較日本文学論1A	2	1.0	1-3	春AB	火4	共同A601-1	平石 典子	日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM177, 02DMN07と同一。
02DMS02	比較日本文学論1B	2	1.0	1-3	秋AB	火4		平石 典子	比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。02DM178と同一。
02DMS03	比較日本文学論2A	2	1.0	1-3					比較文学・文化の手法を用いて、日本文学を考察する。	西暦偶数年度開講。
02DMS04	比較日本文学論2B	2	1.0	1-3					比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦偶数年度開講。
02DMS09	比較日本文化論1A	2	1.0	1-3	春AB	水6	人社A202	石塚 修	受講生の研究関心のあることからについて発表形式でおこなう。	西暦奇数年度開講。02DM115と同一。
02DMS10	比較日本文化論1B	2	1.0	1-3	秋AB	水6	人社A202	石塚 修	日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。02DM116と同一。
02DMS11	比較日本文化論2A	2	1.0	1-3					日本文学・日本文化について、受講生の関心のあることからについて発表形式でおこなう。	西暦偶数年度開講。
02DMS12	比較日本文化論2B	2	1.0	1-3					日本文学・文化について、受講生の関心のあることからについて発表形式でおこなう。	西暦偶数年度開講。
02DMT09	メディア社会研究2A	1	1.0	1-3	春AB	火6	共同A604	海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会学および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM211, 02DMN08と同一。
02DMT10	メディア社会研究2B	1	1.0	1-3	秋AB	火6		海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。02DM212, 02DMN10と同一。英語で授業。
02DMT11	メディア思想と日本社会2A	2	1.0	1-3	秋AB	木5		白戸 健一郎	国家のブランド力たる真のソフト・パワーとは? 本講義では昨今のクールジャパン論をはじめとする文化発信政策について検証します。	西暦奇数年度開講。02DMN03と同一。
02DMT12	メディア思想と日本社会2B	2	1.0	1-3					複数の事例から、広告の効果と一般的宣伝論について学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DMN04と同一。

専門科目(日本語教育学学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW13	言語文化研究演習1A	2	1.0	1	春AB	金3	人社A207	小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	西暦奇数年度開講。
02DMW14	言語文化研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	金3	人社A207	小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	西暦奇数年度開講。
02DMW15	言語文化研究演習2A	2	1.0	2					日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	西暦偶数年度開講。
02DMW16	言語文化研究演習2B	2	1.0	2					日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。	西暦偶数年度開講。
02DMW17	言語表現研究演習1A	2	1.0	1	春AB	火4	人社B208	木戸 光子	日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広げる。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	西暦奇数年度開講。
02DMW18	言語表現研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	火4		木戸 光子	日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広げる。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	西暦奇数年度開講。
02DMW19	言語表現研究演習2A	2	1.0	2					日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広げる。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW20	言語表現研究演習2B	2	1.0	2					日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。
02DMW21	社会言語研究演習1A	2	1.0	1	春AB	月6	共同A604	ブッシュネルケード コンラン	会話分析とエスノグラフィーの相性の有無について論じる研究や、会話分析とエスノグラフィーの手法を併用する「マイクロエスノグラフィー」の研究を取りあげる。受講生はマイクロエスノグラフィーの手法を用いた研究プロジェクトを行って、最後にレポートにまとめる。	西暦奇数年度開講。 奇数年の春ab、月6
02DMW22	社会言語研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	月6		ブッシュネルケード コンラン	第2言語習得研究のための会話分析(CA for SLA)やエスノメソドロジー・会話分析による第2言語の使用に関する研究を取り上げる。受講生はデータ収集をし研究プロジェクトを行う。これを最後にレポートにまとめる。	西暦奇数年度開講。 奇数年の秋ab、月6
02DMW23	社会言語研究演習2A	2	1.0	2					成員カテゴリー化分析などインタラクションにおけるアイデンティティを見る研究を取り上げる。受講生はデータを収集し研究プロジェクトを行う。最後にレポートにまとめる。	西暦偶数年度開講。 偶数年の春ab、月6
02DMW24	社会言語研究演習2B	2	1.0	2					エスノメソドロジーや会話分析、成員カテゴリー化分析、マイクロエスノグラフィーなどの応用。シークエンス・カテゴリー分析を用いて、それぞれの受講生が提供するデータを見ていく。	西暦偶数年度開講。 偶数年の秋ab、月6
02DMW29	日本語教育プログラム演習1A	2	1.0	1					日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	2019年度開講せず。
02DMW30	日本語教育プログラム演習1B	2	1.0	1					日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	2019年度開講せず。
02DMW31	日本語教育プログラム演習2A	2	1.0	2	春AB	水4,5	共同A601-1	国際日本研究専攻 日本語教育領域全 教員	学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	
02DMW32	日本語教育プログラム演習2B	2	1.0	2	秋AB	水4,5		国際日本研究専攻 日本語教育領域全 教員	大学院生が、各自の研究発表を行う。	
02DMW33	日本語教育プログラム演習3A	2	1.0	3					学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	2019年度開講せず。
02DMW34	日本語教育プログラム演習3B	2	1.0	3					大学院生が、各自の研究発表を行う。	2019年度開講せず。
02DMW37	相互行為分析研究1A	2	1.0	1	春AB	金5	人社A201	高木 智世	会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DH491と同一。
02DMW38	相互行為分析研究1B	2	1.0	1	秋AB	金5	人社A201	高木 智世	会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DH492と同一。
02DMW39	相互行為分析研究2A	2	1.0	2					会話分析の視点や手法、重要な知見について、Sacks, Schegloff, Jefferson, Heritageなど、代表的な会話分析研究者による論文を精読することによって理解を深め、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦偶数年度開講。 02DH493と同一。
02DMW40	相互行為分析研究2B	2	1.0	2					会話分析の視点や手法、重要な知見について、Sacks, Schegloff, Jefferson, Heritageなど、代表的な会話分析研究者による論文を精読することによって理解を深め、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦偶数年度開講。 02DH494と同一。
02DMW41	日常会話のエスノグラフィー1A	2	1.0	1	春AB	木4	共同A604	井出 里咲子	言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DH487と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW42	日常会話のエスノグラフィー1B	2	1.0	1	秋AB	木4		井出 里咲子	言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。02DH488と同一。
02DMW43	日常会話のエスノグラフィー2A	2	1.0	2					言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DH489と同一。
02DMW44	日常会話のエスノグラフィー2B	2	1.0	2					言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DH490と同一。